

授業評価 2014 (後期) T1S: 工学部ナノサイエンス学科

syll mkjhytex.pl Ver 2.73(2015-03-11) by Yas

2014 年度後期 工学部ナノサイエンス学科 授業評価 目次

授業コード	授業科目名	開講時限等	担当教員	ページ
T1S019001	物性物理科学 II	3 年後期金曜 3 限	青木 伸之	T1S 1

授業科目名	: 物性物理科学 II
担当教員	: 青木 伸之
年次・開講時限	: 3 年後期金曜 3 限
授業コード	: T1S019001
授業アンケート	: 回答者数 16 人 / 受講者数 43 人 (回収率 37%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q11. 授業内容の量を考慮すると、進度は適切でしたか? (回答 15 件)

授業の進度に関しては、キッテルの 6 章 ~ 10 章の 5 章分を 15 回の授業で講義しなければならぬため、1 章にかけられる回数は限られた状況であった。5, 6, 7 章に関しては、今後の研究において必要となる可能性が高いことから 3 回の講義を割いて、丁寧に説明したつもりである。

Q5. 板書, OHP, スライドなどは、見やすかったですか? (回答 15 件)

今回は初めて担当したこともあり、なるべく進度を犠牲にしても、黒板に書いて丁寧に説明していくことを心掛けた。見やすかったとの回答が 80% 得られたので、この方針を継続していくが、一部板書の字が読みにくいとの指摘もあったので、なるべく大きく書くようにしていきたい。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 15 件)

「あまりそういえない」との回答が 27% あったことを考慮すると、まだ講義内容を改善する余地があるように思う。固体物理は初めは理解するのが難しいことも事実であり、必修の授業であることから、難しいながらもポイントを押さえて、解説していきたい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

「追加資料があったらいいと思います」との意見をいただいたので、来年度の講義では要点のまとめや、授業の手助けになる資料も用意したいと思います。

3. その他のコメントや連絡事項

固体物理は初修者にとっては考え方も難しい科目ではあるが、量子力学的な考え方をもとに、実際の物質・材料の中での状態を考えるための基礎となる学問であることから、是非投げ出さずに最後まで付いてきて欲しいところです。演習や宿題を行うことで、理解が深まるようにフォローしていきたいと思います。

作成(者): 青木伸之